

鉄炮鍛冶屋敷に伝わる青龍鉾人形を 修復後初めて一般公開します － 200 年の時を経た人形が往年の姿で復活 －

堺市では、令和 6 年 7 月 18 日付け報道提供資料でお知らせしたとおり、鉄炮鍛冶屋敷に伝わる青龍鉾人形（菅原神社の祭礼鉾「青龍鉾」に付属する人形）の損傷が激しかったことから、令和 6 年度に修復のためのクラウドファンディングを実施し、約 2 年の歳月をかけ修復を行いました。

このたび、往年の姿によみがえった青龍鉾人形を、修復後初めて一般公開します。

同人形は、収納箱の蓋に記された墨書から、江戸時代の文政 7 年（1824）に鉄炮鍛冶屋敷が所在する地域の住民の寄附によって制作されたことが分かる大変貴重な文化財です。

ぜひご来館いただき、鮮やかな衣装をまとった青龍鉾人形をご覧ください。

1 日時

令和 8 年 6 月 10 日（水）～7 月 20 日（月・祝）

2 場所

鉄炮鍛冶屋敷（堺市堺区北旅籠町西 1-3-22）

3 展示内容

(1) 概要

堺市では現在、だんじりやふとん太鼓の祭礼が盛んですが、江戸時代の堺、特に現在の「環濠エリア」では、京都市の祇園祭の山鉾のような「祭礼鉾」が曳行されていました。これまで知られていたのは、堺南庄の氏神である開口神社の「大小路鉾」で、堺市博物館には古写真等の資料を参考に復元されたものが常設展示されています。堺北庄の氏神である菅原神社の八朔祭（旧暦八月一日に開催される祭り）においては、これまで実物資料は確認されていませんでしたが、平成 26 年から実施した、鉄炮鍛冶屋敷に伝わる資料の調査過程において、「青龍鉾」の本体と思われる部材、幕類、鉾頭、青龍鉾人形が発見されました。今回の展示では修復後の青龍鉾人形や収納箱を展示し、保存修理過程の映像を上映します。

(2) 主な展示資料

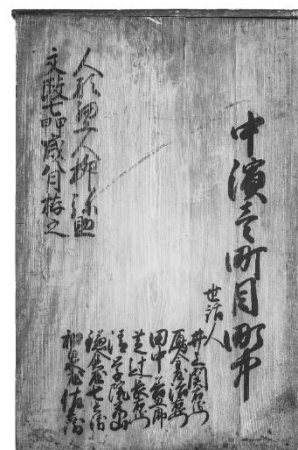
- ・青龍鉾人形（修復後）
- ・青龍鉾人形収納箱の蓋（裏に墨書銘あり）
- ・保存修理過程の映像



青龍鉾人形（修復前）



青龍鉾人形（修復後）



青龍鉾人形収納箱の蓋

顔や手の欠けた部分を補い、傷みの激しかった衣装を当初の文様や色彩で復元新調しました。復元新調に当たっては、布の染め、織り、着付け方法を調査した上で、糸の染色、製織、縫製、着付けを行い、色鮮やかな往年の姿を取り戻しました。

蓋裏には、中浜一丁目（現在の北旅籠町西1丁付近）の世話人たちの名前や、文政7年（1824）に堺の人形細工人である柳弥助によって作られたことが墨書されています。

4 文化財課学芸員によるミニ講座（関連イベント）

日時	6月21日（日）午後2時から（1時間程度）
場所	鉄炮鍛冶屋敷
内容	青龍鉾人形の歴史や今回の修復に関して解説します。
参加費用	無料（別途入館料は必要）
定員	35人（先着順）
申込開始日時等	申込開始日時：6月3日（水）午前10時 電話またはFAXで町家歴史館にお申し込みください。【電話・FAX（共通）】072-228-1501

5 鉄炮鍛冶屋敷 施設概要

開館時間	午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日	火曜日
入館料	500円（20人以上の団体は400円） ※中学生以下、堺市内に住所を有する65歳以上の方、障害のある方とその介護者は無料（障害者手帳など証明書の提示が必要）
アクセス	阪堺電車阪堺線「高須神社」停留場より西へ約300m 南海電鉄南海本線「七道」駅より東へ約300m

 問
い
合
わ
せ
先

 担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 文化財課
 電 話：072-228-7198
 ファックス：072-228-7228